

平成26年度第8回県政参画電子アンケート
『青少年社会教育施設のあり方について』調査結果
(オープンアンケート方式)

1 調査概要

- ・テーマ：「青少年社会教育施設のあり方について」
- ・期間：平成26年7月18日(金)～8月6日(水) 17:00まで
- ・対象：一般県民及び県政参画電子アンケート会員
- ・回答：372名
※うち、アンケート会員の回答者数：360名／480名(75.0%)

2 アンケートの調査目的

県教育委員会では、平成24年度の県民委員による事業棚卸しの結果に基づき、平成25年度に、船上山少年自然の家、大山青年の家それぞれに運営委員会を設置し、青少年社会教育施設の運営のあり方について議論を進めてまいりました。

運営委員会での意見のとりまとめは次のとおりですが、今後の方向性について、県民の皆様のご意見をお寄せください。

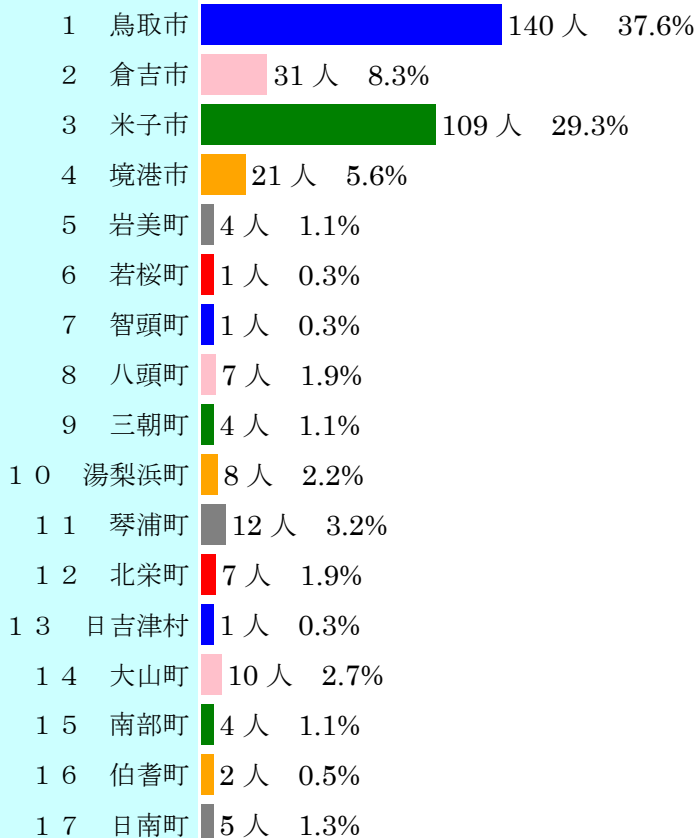
(参考資料)

- ・[平成25年度運営委員会の意見のまとめ及び概要](#)
- ・[指定管理者制度について](#)
- ・[船上山少年自然の家について](#)
- ・[大山青年の家について](#)

<回答時点で「県政参画電子アンケート会員」ですか>



(問1) あなたのお住まいはどこですか。



18	日野町	1人	0.3%
19	江府町	1人	0.3%
20	県外（県内に通勤通学している方）	3人	0.8%

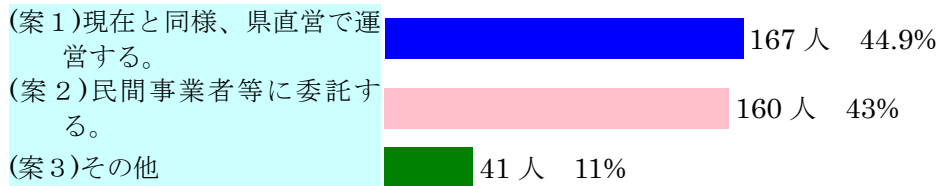
（問2）あなたの年齢をお答えください。

1	10歳未満	0人	0%
2	10歳代	4人	1.1%
3	20歳代	42人	11.3%
4	30歳代	108人	28.9%
5	40歳代	104人	28.0%
6	50歳代	56人	15.1%
7	60歳代	39人	10.5%
8	70歳以上	19人	5.1%

（問3）これらの現状を踏まえて両施設に今後期待すること（必要と思えること）を次の中から3つお選びください。

1	児童生徒の自然体験活動などを指導できる指導員の配置・充実	218人	58.6%
2	学校の諸問題（不登校など）に対応した体験活動を指導できる指導員の配置・充実	97人	26.1%
3	学校の教職員を対象とした体験活動研修の充実	48人	12.9%
4	幼児期から高齢者まで年代に応じた自然体験活動の充実	203人	54.6%
5	市民団体、NPO等と様々な連携・企画ができる指導員の配置・充実	57人	15.3%
6	市民団体、NPO等の指導者を対象とした体験活動研修の充実	26人	7%
7	専門的、高度な体験活動（ロッククライミングなど）を指導できる指導員の配置・充実	45人	12.1%
8	体験型教育旅行（修学旅行など）の宿泊体験施設としての活用	122人	32.8%
9	農村等での長期滞在型の自然体験活動（グリーンツーリズム）などの宿泊体験施設としての活用	126人	33.9%
10	指導員の能力を生かした、高齢者福祉施設や子ども会など施設外への指導員の派遣（レクリエーション、おやつ作りなど）	80人	21.5%
11	その他	9人	2.4%

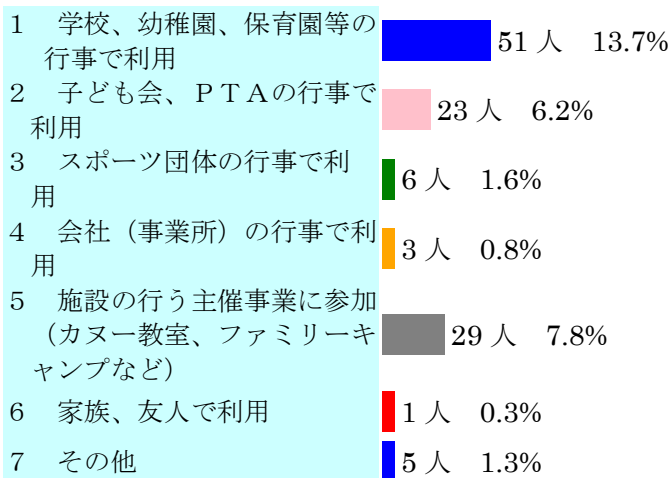
(問4) 両施設の運営方法について、現状及び選択肢の説明を元にどの案が望ましいとお考えですか。
次の選択肢からお選びください。



(問5) この5年以内に船上山少年自然の家、大山青年の家を利用したことがありますか



(問6) 利用されたことのある方は、どんな（どこが主体の）行事で利用されましたか。次の選択肢から当てはまるものを選んでください。



(問7) 利用したことがない理由等についてお聞かせください。
次の選択肢から当てはまるものを選んでください。

